家庭があっての仕事、仕事あっての家庭



リップル株式会社

〒860−0804
熊本市中央区辛島町３－20
NBF 熊本ビル３０５号
TEL 096−311−7722
FAX 096−311−7766

●代表者／橋爪　英仁（代表取締役社長）
●業　種／電話代行、事務代行、サポート業務
●従業員／ 60 名
●事業概要／コンタクトセンター、BPO センター運営
【http://www.ripple-call.co.jp】



職員の声

BPO センター
麻生　ありさ さん

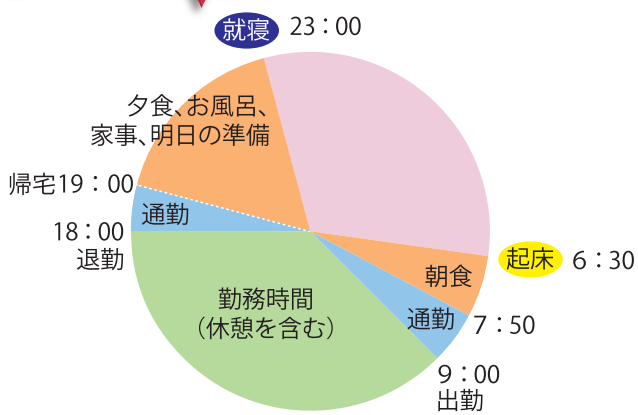


産前・産後休業と育児休業を取得して、昨年５月に復職しました。職場の仲間ととても仲がいいので、出産したら会社に戻って働きたいと思っていました。会社の雰囲気も、子育てしながら働き続けるのが当たり前のような感じなので特に迷うこともありませんでした。職場に来るのが、子育ての息抜きになっている感じです。

子どもが病気しがちですが、休みが取りやすいので助かっています。子どもが長期間入院したときでも、「仕事は気にしなくていいよ」と職場のみんなからやさしく声を掛けてもらいました。



1日のスケジュール



アピールポイント

1 休みやすい人員配置と業務システム

業務に必要な人員数より２割増しの人員を配置し休みを取りやすいように配慮。また仕事を一人で担当することのないよう、必ずグループでやるシステムを採用し個人の負担が重くならないようにしています。

2 雇用形態で差が生まれない職務評価

育児短時間や看護休暇の取得が職務評価の査定に不利にならないように、時間単位の処理能力の評価を重んじています。雇用形態で評価に差が生まれないように、平等に評価しています。



3 南国風の休憩室でリフレッシュ

体調が悪いとき、疲れたとき、ON・OFF の切り替え、昼食時…南の島をイメージした休憩室でゆったりと心身を休めることができます。



Interview

コンタクト事業部長　小林　裕司さん

女性が９割、平均年齢 28 歳なので、結婚、出産を迎える職員が多く、かつ人材の確保が難しい状況でもあります。

そのため出産後は職場に復帰してもらうのが会社にとって一番ですし、職員にとってもそれが希望であれば、お互いにいい関係でいられるように、会社としてもできる限りのことをしようとしています。

家庭あっての仕事、仕事あっての家庭です。育児はもちろん介護であっても、家庭の事情だったら仕事を休むのが当たり前のことですし、会社としても全面的にバックアップしています。